

- ① 森寛齋「雨中漁船図」〈前期展示〉
- ② 小林古径「牡丹」1944-46年頃〈後期展示〉
- ③ 林武「和装婦人」1935年
- ④ 岸田劉生「童女図(麗子像)」1929年



### 関連イベント

#### ワークショップ「オリジナルこいのぼりパッチをつくろう」

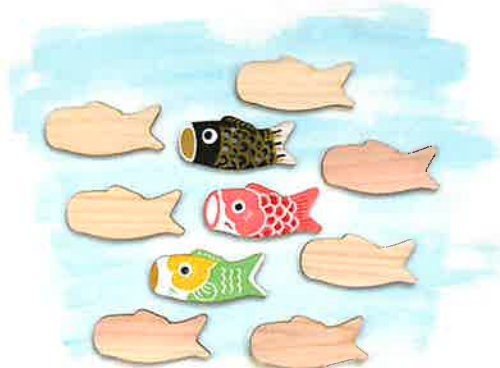
ヒノキの間伐材からできたパッチに色を自由にぬって、かわいいパッチをつくってみませんか。

開催日時 5/3(水) 5/4(木) 5/5(金) 10時~16時  
※参加申込は当館1階受付で15時30分まで

参加費 300円

定員 各日先着15人

※定員になり次第受付を終了します。



事前予約  
なしで  
参加OK

**黒** 色は色彩のひとつであり、濃淡によって明暗をあらわし、線描によって立体をかたどるなど実に多彩な姿を見せます。日本画で用いる代表的な黒色として墨があげられます。「墨に五彩あり」といわれるように、白から淡い灰色、そして漆黒とその濃度によってさまざまな表情を見せ、独自の美の世界を形成しています。本展では、こうした黒色に着目して作品を幅広くご紹介し、黒の魅力に迫ります。

日本画は会期中一部入れ替えをおこない、前期には、日本画の表現方法である「たらしこみ」や「ぼかし」、「毛描き」など描く対象に合わせて巧みに使い分けられたさまざまな表現方法を作品ともにご紹介します。後期では、広島出身である船田玉樹の水墨を探究した時期の作品や、交友のあった作家たちの作品を展示します。油彩画では、香月泰男の黒色と黄土色を基調とした作品から、代表作であるシベリア・シリーズやふるさとの山口県長門市三隅の自然や風景、家族を描いた作品をご紹介します。そのほか里見勝蔵や林武、長谷川利行らの作品から、画面を引き締めたり際立たせるために、黒色を用いた作品を展示します。ぜひこの機会に色彩のひとつである黒の織りなす美しい世界をお楽しみください。

### 特集展示

## 棟方志功の世界

4月12日(水)ー5月18日(木)

棟方の代表作である釈尊の10人の高弟を題材にした釈迦十大弟子と文殊、普賢の両菩薩像をご紹介します。

### ◆ 臨時休館のお知らせ

施設メンテナンスのため下記の期間で臨時休館します。

2023年5月19日(金)ー7月下旬(予定)

ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

### 交通のご案内

#### 呉市内から電車、バス利用の場合

JR呉線で広駅または仁方駅で下車。駅前最寄りバス停留所より瀬戸内産交運のバスに乗り。下蒲刈町内「三之瀬」停留所下車。美術館まで300m。バスは上下線とも毎時1本運行しています。

#### 広島市内から電車で60分

呉市内より国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡ると最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前の駐車場をご利用できます。駐車場から徒歩260m。

#### バスに関するお問い合わせ

瀬戸内産交株式会社 TEL0823-70-7051



※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、今後開催を予定しております展覧会が変更される場合がございます。最新情報は、当館のHPをご覧ください。